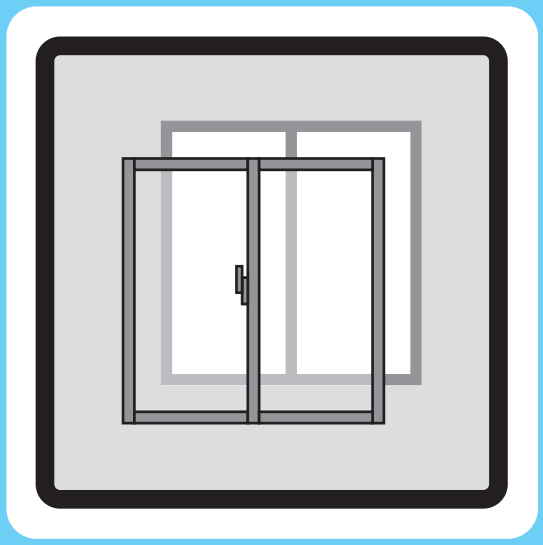
お施主様用保存版

お施主様・使用者様向け取扱説明書

使い方&お手入れ ガイドブック



● プラマード U 編 ●

YKK AP商品を長く安全にお使いいただくために、正しい操作方法・適切なお手入れ方法・使用上の注意点・お願い・商品保証などを掲載しています。説明をよくお読みいただき、保管くださいますようお願いいたします。

販売店・工務店・建築会社の皆様へ

この取扱説明書は施工後必ず、お施主様へお渡しください。

ガイドブックについて

このたびはYKK AP 商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。
商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。
お使いいただいている商品によっては、本書に掲載されていない場合がありますので、当社ホームページの情報も併せてご利用ください。

お客様 サポート

ＹＫＫ ＡＰへのお問い合わせや商品の使い方、お手入れなどを紹介しています。
http://www.ykkap.co.jp/support/index.asp

快適、安全・安心のポイント

日常生活の中で注意していただきたいポイントを紹介しています。
http://www.ykkap.co.jp/support/manual/safety/safety.asp

使い方＆お手入れガイド

ＹＫＫＡＰ商品の取り扱い情報を幅広く紹介しています。
http://www.ykkap.co.jp/support/manual/index.asp

ＷＥＢ　カタログ

当社の商品カタログ、ユーザーマニュアル（ガイドブック）を紹介しています。
http://catalog.ykkap.co.jp/top/webcat_index.asp

商品の仕様などの変更により、本書の内容とお使いの商品が一致しない場合がありますのでご了承ください。

目　次

目　次 ・・・・・・・ P. 1

■ 第1章 安全にお使いいただくために ・・・・・・・ P. 2

■ 第2章 商品の種類と各部の名称 ・・・・・・・ P. 4

■ 第3章 商品の使い方
- 引違い窓 ・・・・・・・ P. 5
- FIX窓 ・・・・・・・ P. 6
- 内開き窓 ・・・・・・・ P. 7
- 開き窓テラス ・・・・・・・ P. 8

■ 第4章 お手入れ方法 ・・・・・・・ P. 9
- 引違い窓 ・・・・・・・ P.10
- 内開き窓 ・・・・・・・ P.11
- 開き窓テラス ・・・・・・・ P.13

■ 第5章 知っていただきたい現象 ・・・・・・・ P.14

■ 第6章 商品保証について ・・・・・・・ P.16

第1章　安全にお使いいただくために

● 安全にお使いいただくために・・・

1. 内窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認し、引手やハンドルを持ちゆっくりと行ってください。

2. 内窓の取りはずしや調整などを行う前に、必ずこの取扱説明書を読んで正しい操作を行ってください。

3. 内窓の取りはずしや取り付け、調整などを行う際は、周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。

4. 内窓、ドアをしっかり閉め、確実に錠をかけてください。施錠後は、錠がかかっていることを確認してください。

5. 内窓に寄りかかったり、荷重をかけたりしないでください。

6. 長期間、商品をご使用になりますと、ネジのゆるみが発生することがあります。
商品のネジ部品がはずれたり、ゆるんでいないか時々点検してください。

7. 「プラマードU」は、既存の外窓の室内側に取付ける内窓です。外窓のように高い水密性能や耐風圧性能をもっていませんので、下記に記載する内容を必ず守ってください。

・雨降りの場合は、必ず外窓を閉めて施錠してください。
・風の強いときは、外窓を必ず閉めて施錠してください。
また外窓を開けた状態で「プラマードU」を閉めないでください。
風圧により、「プラマードU」が変形したり破損するおそれがあります。
・マンションなどの高層階では、台風などの強風時に、玄関ドアや窓を開ける時は外窓を閉め、「プラマードU」を少し開けてください。台風などの強風時に、玄関ドアや窓が開くと、急激な圧力により「プラマードU」が変形したり破損するおそれがあります。

● 安全に関するポイント〈 けがの防止 〉

内窓やドアなどは日常何気なく使用していると思いますが、ちょっとした不注意が、けがにつながることがあります。日常生活の中でご注意していただきたいポイントを以下にご紹介しますので 家庭内でのけが防止の参考にしてください。

◇はさむ

・内窓の開閉は必ず引手やハンドルを持って操作してください。
・内窓のすき間に絶対に手や指を置かないでください。

手や指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

・内窓は勢いよく開閉しないでください。

手や指をはさんで大けがをするおそれや、内窓の破損につながるおそれがあります。

◇ぶつかる

・内窓のお手入れをするときには、端部や部品のかどにご注意ください。

内窓の端部や部品のかどに手をぶつけてけがをするおそれがあります。

・内窓のそばを通るときは、開いている窓にご注意ください。

開いている窓にぶつかり、けがや窓の破損につながるおそれがあります。

◇落ちる

・内窓に寄りかかったり、荷重をかけたりしないでください。

内窓の破損や脱落、転落･転倒によるけがのおそれがあります。

・お手入れなどで、窓から身を乗り出さないでください。

バランスをくずし、転落するおそれがあります。

● 安全に関する表示について・・・

人身事故や財産上の損害を未然に防止するために守っていただきたい内容を示しています。
内容をご理解のうえ、商品をご使用ください。

表　示		意　味
⚠注意		取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
		「必ず守っていただくこと」を示します。
		「してはいけないこと」を示します。
お願い		指示に従わないと、使用者が損傷を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。

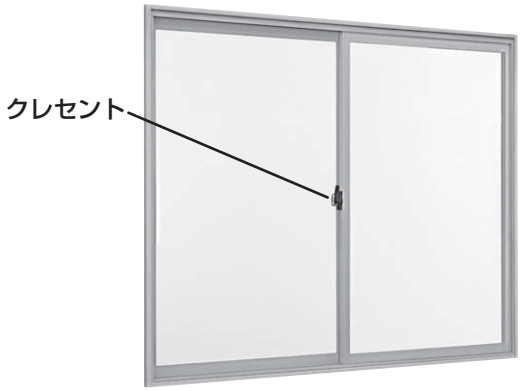
その他の表示

	「ご使用前に読んでいただきたいこと」を示します。

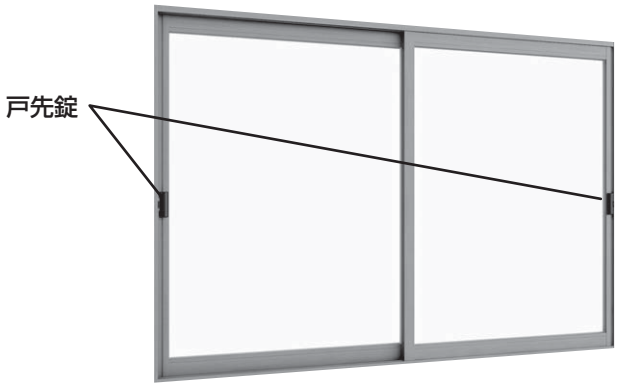
※デザイン、仕様などは商品改良のため、予告なく変更する場合があります。
弊社ウェブカタログのページ<http://catalog.ykkap.co.jp/top/webcat_index.asp>もご確認いただくことをおすすめします。

第2章 商品の種類と各部の名称

● 引違い窓

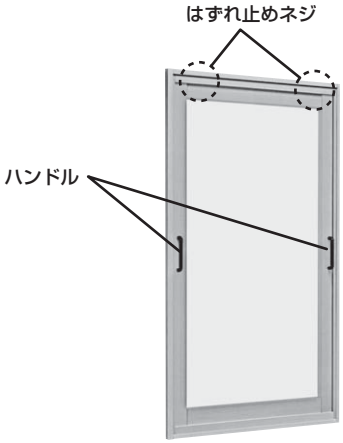


クレセント仕様

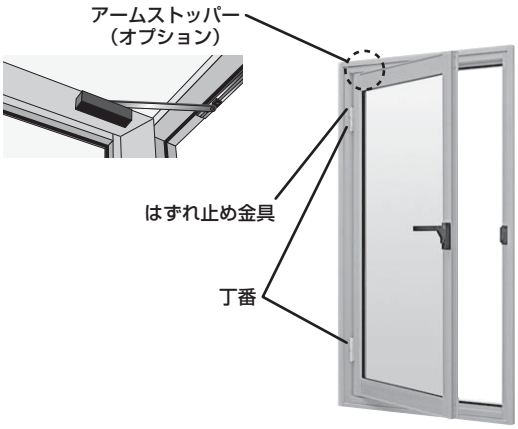


戸先錠仕様

● FIX窓



● 内開き窓



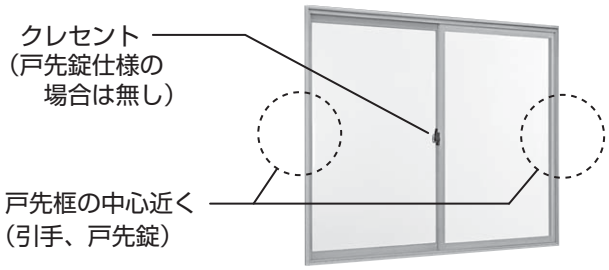
● 開き窓テラス

● 内窓の開閉

お 願 い

・雨降りの場合や風の強いときは、必ず外窓を閉めて施錠してください。
・外窓を開けた状態で「プラマードU」を閉めないでください。風圧により、「プラマードU」が変形したり破損するおそれがあります。

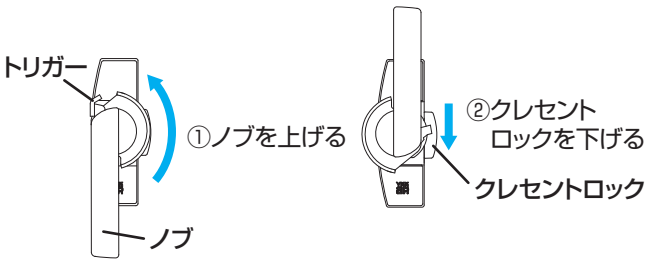
一読
・内窓を開閉する際は、戸先框の中心近く（引手付きの場合は引手、戸先錠仕様は戸先錠）に手をかけて、ゆっくりと操作してください。



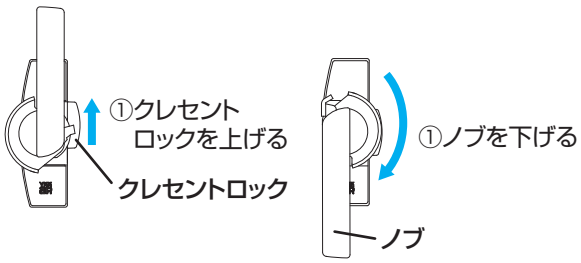
● クレセントの操作方法

一読
・外出時や就寝時など、内窓を閉めたときには、クレセントを必ずかけてください。
・クレセントには空掛け防止機能が付いています。内窓がしっかり閉まっていないと施錠できません。
内窓がしっかり閉まっているにもかかわらず施錠できない場合は、本書P.10「クレセントの調整方法」を参照の上、クレセントの調整を行ってください。

施　錠



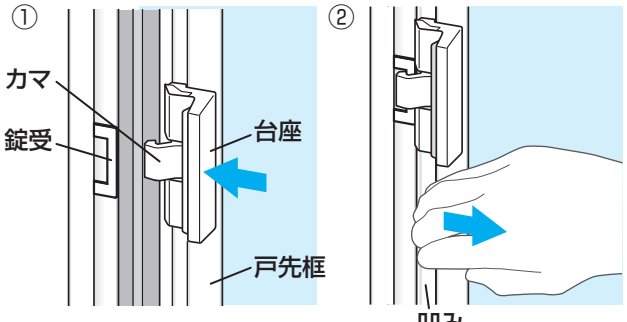
解　錠



● 戸先錠の操作方法

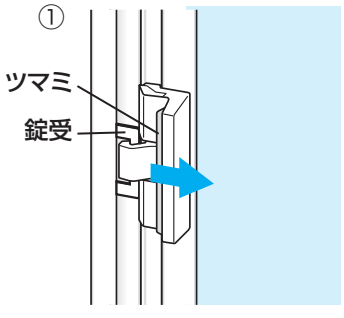
一読
・戸先錠は内窓を閉めると自動的に施錠されます。
戸先錠のかかった状態では外部から内窓を開くことはできません。

施　錠



① 戸先錠の台座に手をかけ窓を閉める
※内窓を閉めると自動で施錠されます。
② 戸先框の凹みに手をかけて内窓が開かないことを確認

解　錠



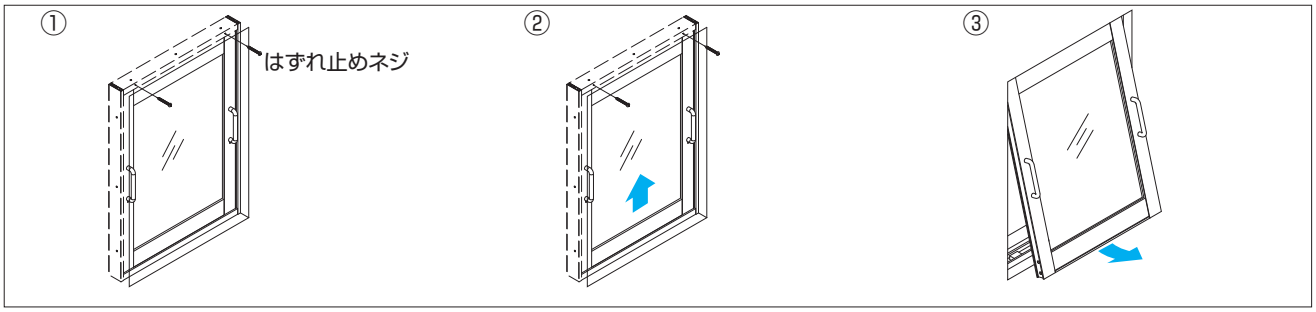
① 戸先錠のツマミに手をかけ内窓を開く
※ツマミが引っ込み錠受からカマが外れ解錠されます。

● ＦＩＸ窓のはずし方

一読

・内窓の窓をはずし、外側ガラスの清掃が出来ます。
・ガラスを組み込んだ窓は大きな重量となっています。作業を行う際は、2人以上で作業するなど取扱いに注意してください。

〈ガラスを組み込んだ窓重量の例〉
例１. W=750mm、H=1500mm、3mmガラス使用時→約10kg
例２. W=1500mm、H=1800mm、3−A12−3mm複層ガラス使用時→約40kg



①上枠にとまっている左右のはずれ止めネジをはずす

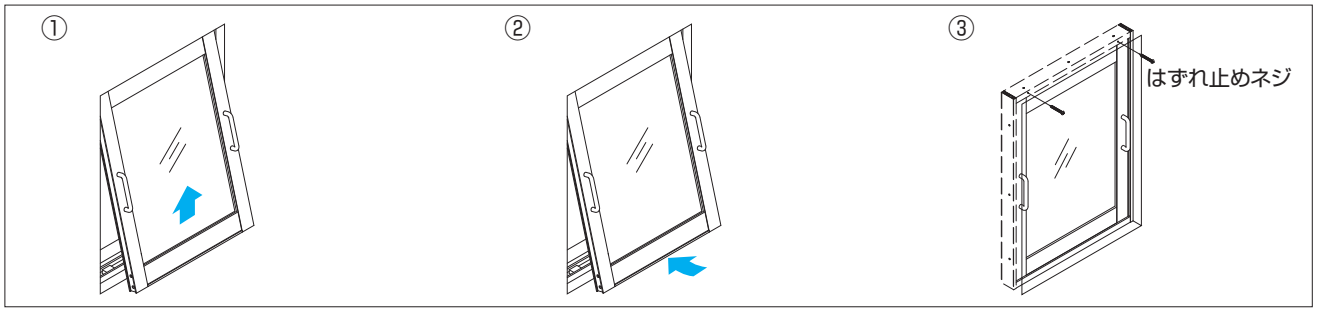
②左右のハンドルを持ち、窓を持ち上げる

③持ち上げた窓の下部を手前へ引き、窓をはずす

● ＦＩＸ窓の取り付け方

⚠ 注 意

❗お手入れなどのために窓をはずした後、再び窓を取り付けるときは、落下防止のため下記の手順にしたがって作業し、必ずはずれ止めネジを止めてください。

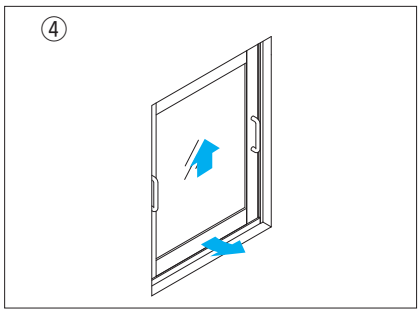


①ハンドルを持ち窓の上部を持ち上げるように窓枠の上枠部へ入れる

②窓の下部を窓枠の下部へ落ろすように入れる

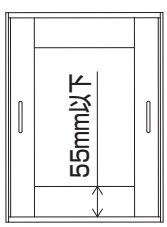
③左右のすき間を均等に合わせ、上枠のはずれ止めネジを止める

（**ポイント**をご参照ください。）

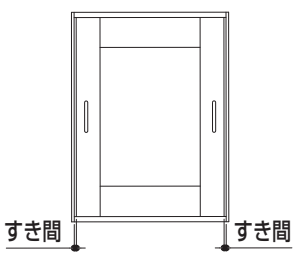


④左右のハンドルを持ち、窓を持ち上げた状態で下部を手前に引いても、窓がはずれないことを確認

ポイント



●下框の見えがかり寸法が55mm以下になっていることを確認



●左右のすき間が均等になるように調整

⚠注 意

はずれ止め金具をはずさないでください。
窓がはずれ脱落し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

お 願 い

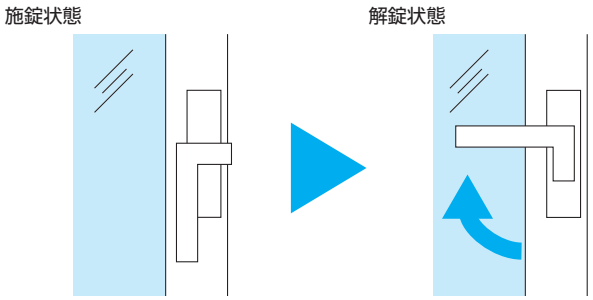
・雨降りの場合や風の強いときは必ず外窓を閉めて錠をかけてください。

● カムラッチハンドルの操作

窓の開け方

カムラッチハンドルをヨコにした状態で窓を室内側へ引き開ける

カムラッチハンドル

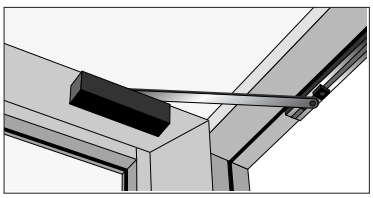


窓の閉め方

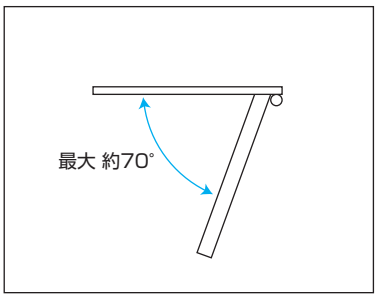
カムラッチハンドルをヨコにした状態で窓を室外側へ押し、窓が完全に閉まった状態でカムラッチハンドルをタテにする

●アームストッパー（オプション）について

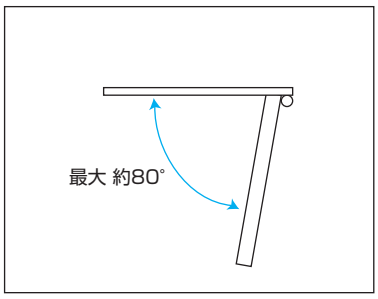
アームストッパーは、横幅が350mm以上の窓に取付けできます。
アームストッパーを取付けした場合、窓の開く角度は約90°になります。
ただし、横幅や仕様により、開く角度が異なるものがあります。（下図参照）



■350mm≦横幅＜400mm
の場合



■北海道エリアで販売の
溶着タイプの場合

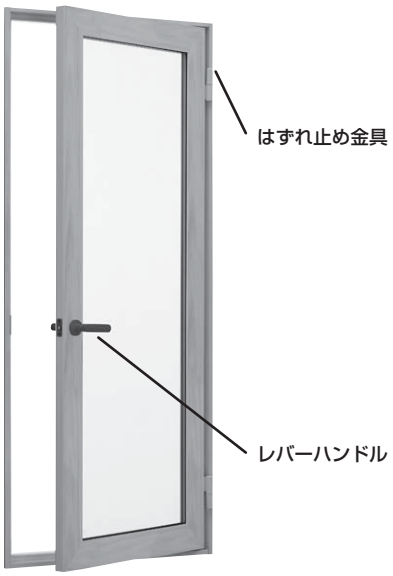


⚠注意

⃠はずれ止め金具をはずさないでください。
窓がはずれ脱落し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

お願い

・雨降りの場合や風の強いときは必ず外窓を閉めて錠をかけてください。

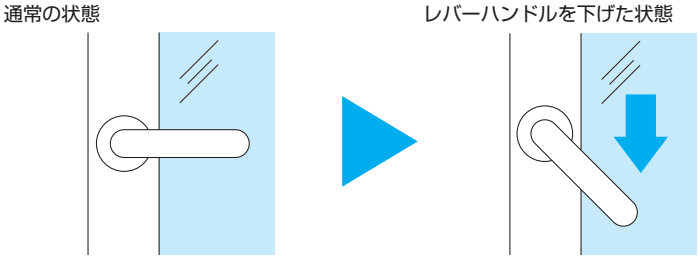


● レバーハンドルの操作

窓の開け方

レバーハンドルを下げ、窓を室内側へ引き開ける

レバーハンドル



窓の閉め方

ハンドルを持ち、室外側へ押し窓を閉める

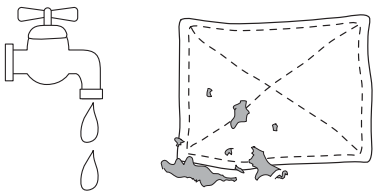
第4章 お手入れ方法

商品を大切に長く使うために、商品の材質に応じた方法でこまめに、お手入れすることが大切です。お手入れしないままで放置すると、表面に付着した汚れは、しみや腐食・さびの原因となってしまいます。
汚れが付いたら早めにお手入れしてください。汚れを早めにお手入れすることが、商品を長持ちさせる最良の方法です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食・さびが進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

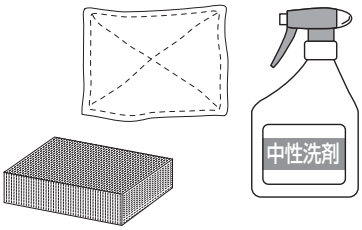
● 樹脂製品のお手入れ方法

一読

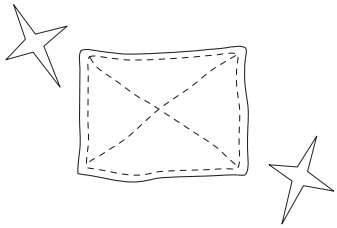
【薬品への配慮】
・有機溶剤が樹脂表面に付着すると、ひび割れやはく離が生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
・塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が樹脂の表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。
【キズへの配慮】
・日常の使用に対して十分に耐えますが、砂などが付いたままふき掃除をすると、表面にキズが付くおそれがあります。
【熱への配慮】
・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。



①柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とす



②柔らかい布・またはスポンジで全体を水ぶきする
※水で落ちない場合は、中性洗剤（1～2%水溶液）を使い、軽く洗い流します。

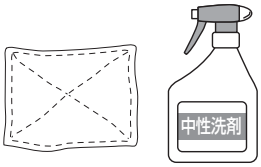


③乾いた布で十分に水分をふき取る

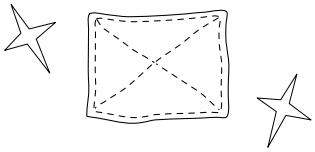
● ガラスのお手入れ方法

一読

・万一ガラス表面に傷がつくと割れるおそれがありますので、お手入れの際は必ず柔らかい布をご使用ください。
・表面に傷がついてしまった場合はお早めにまずお取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。



①柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れを拭き取ってください。

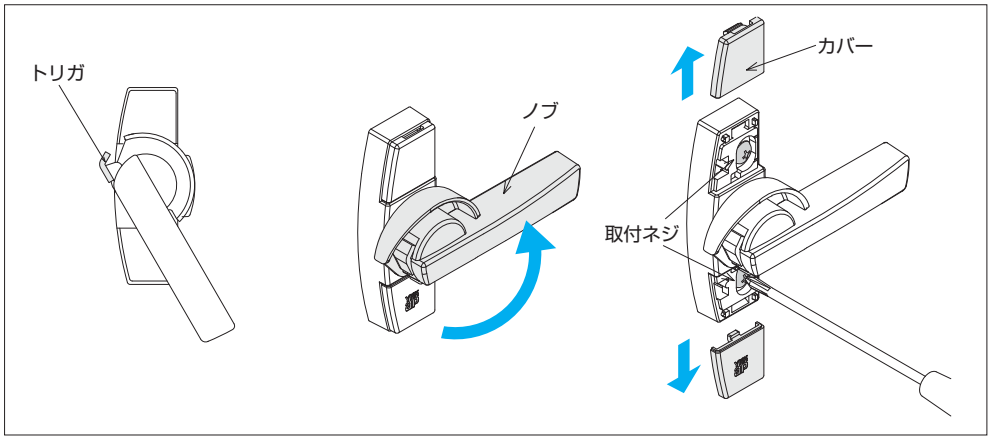


②乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

● クレセントの調整方法

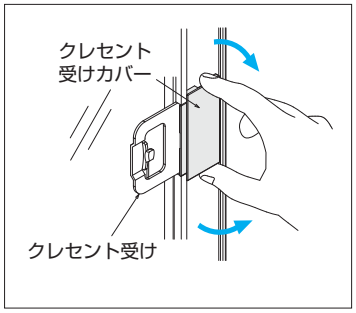
クレセントが硬い、かからない、かけても窓が動く場合はクレセントおよびクレセント受けの調整を行ってください。

クレセントの調整

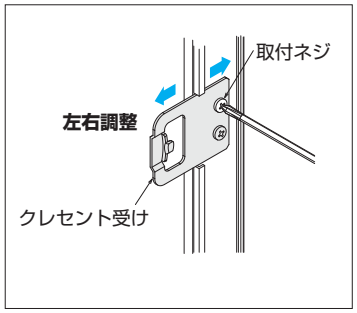


①トリガを指で押さえて、ノブを中間位置までまわす
②マイナスドライバーなどを使い、上下のカバーをはずす
③上下の取付ネジをゆるめ、上下に動かして調整する　※取付ネジは、絶対にはずさないでください。
④調整後、上下の取付ネジをしっかりとしめて、上下のカバーを取付ける

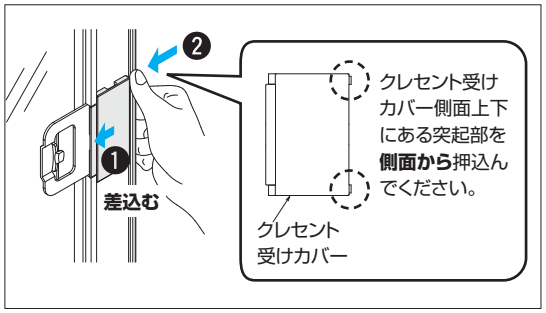
クレセント受けの調整



①クレセント受けカバーをつまみながら手前に引きクレセント受けカバーをはずす



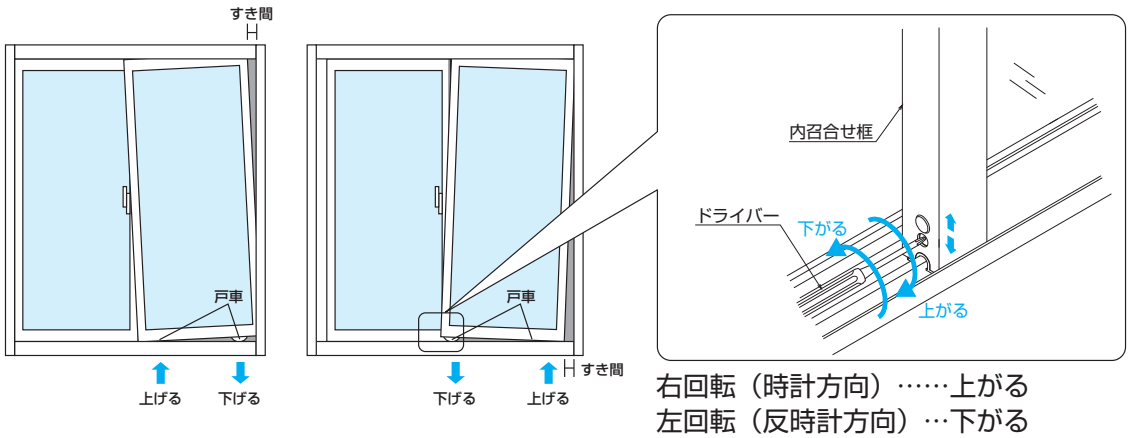
②取付ネジをゆるめ左右に動かし調整する
※取付ネジは、絶対にはずさないでください。
③調整後、取付ネジをしめる



④クレセントカバーを取り付ける

● 戸車の調整方法

窓がきちんと閉まらない場合など、戸車の高さを調整することで建付調整が行えます。



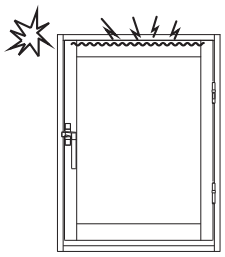
右回転（時計方向）……上がる
左回転（反時計方向）…下がる

● 丁番の調整方法

一読

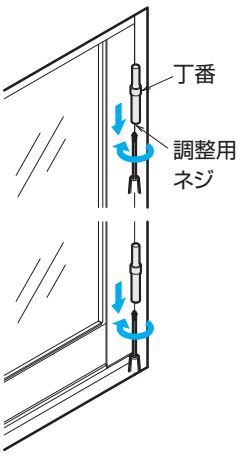
・調整は上下の丁番のネジを均等に回して行ってください。
・調整用ネジ、調整ネジを回すときは一度に回しすぎないでください。目安として1/4回転（９０°）ずつ回して調整します。

・障子の上部が枠に当たる場合



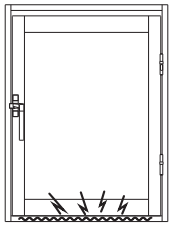
上下丁番の上下調整用ネジを
左に回すと、障子は下がります。

下へ最大2.5㎜



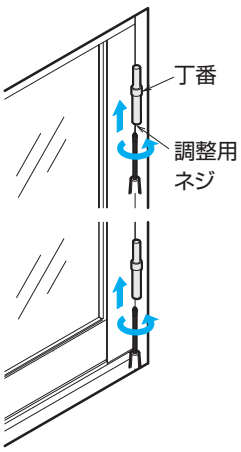
※調整用ネジは、絶対にはずさないでください。

・障子の下部が枠にこする場合



上下丁番の上下調整用ネジを
右に回すと、障子は上がります。

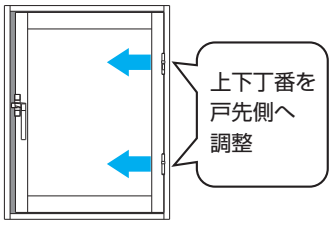
上へ最大2.5㎜



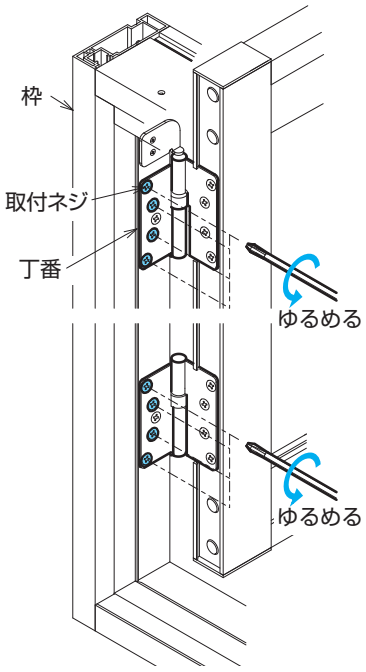
※調整用ネジは、絶対にはずさないでください。

・障子の戸先側のすき間が大きい場合

障子を戸先側へ寄せる

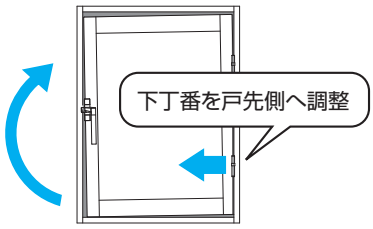


①上下丁番の枠側ハネ内側
４ケ所の取付ネジをゆる
める

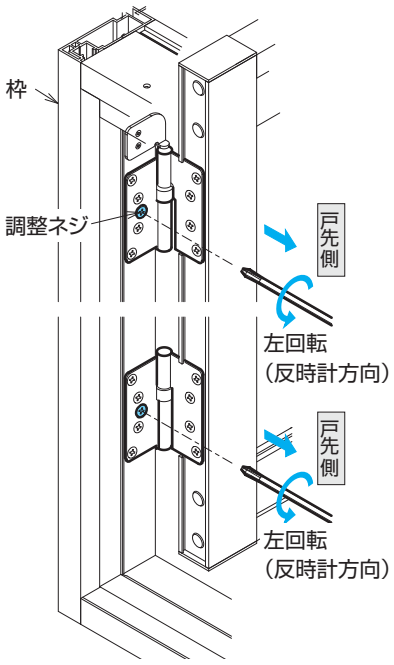


・障子の傾きが大きい場合

戸先を上げる

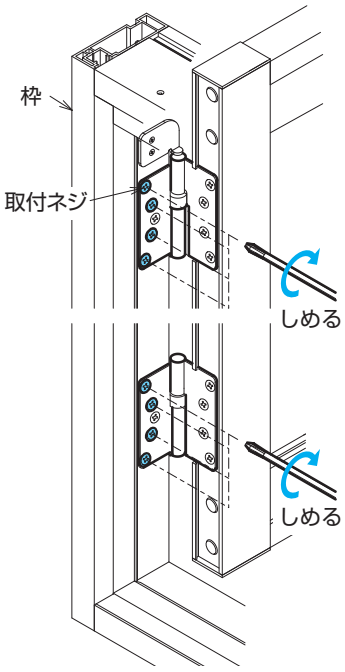


②左右調整ネジを左に回し
障子を戸先側に調整
※最大2.5mm調整可能



戸先を下げる

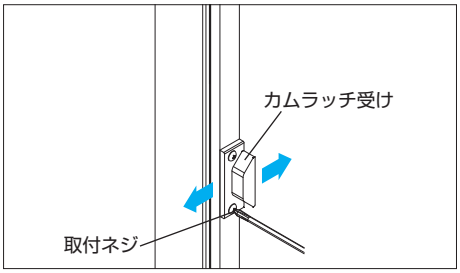
③障子の位置を決め、ゆる
めた取付ネジをしめなおす。



※取付ネジは、絶対にはずさないでください。

● カムラッチ受けの調整方法

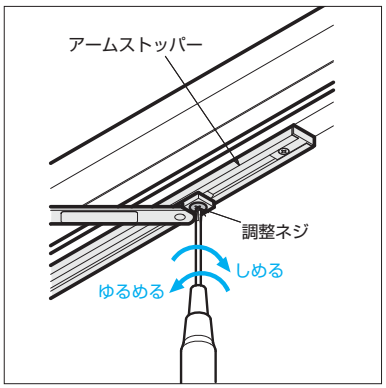
カムラッチがうまくかからないときは、カムラッチ受けの調整をしてください。



①カムラッチ受けの取付ネジをゆるめる
※取付ネジは絶対にはずさないてください。
②ハンドル側へスライドさせる
③取付ネジをしめる

● アームストッパー（オプション）開閉力の調整方法

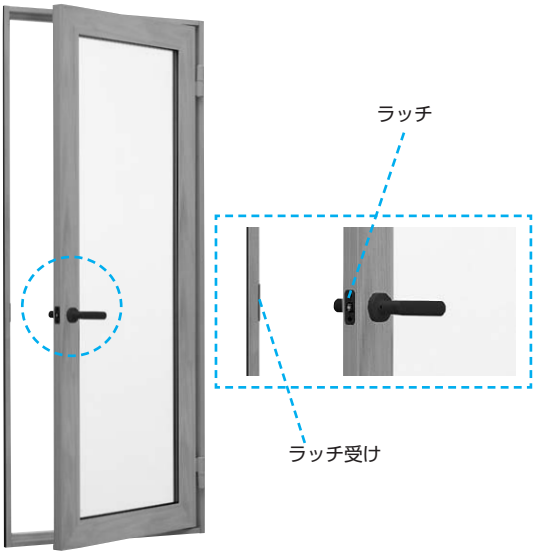
アームストッパーの調整ネジを回して窓の開閉力を調整します。

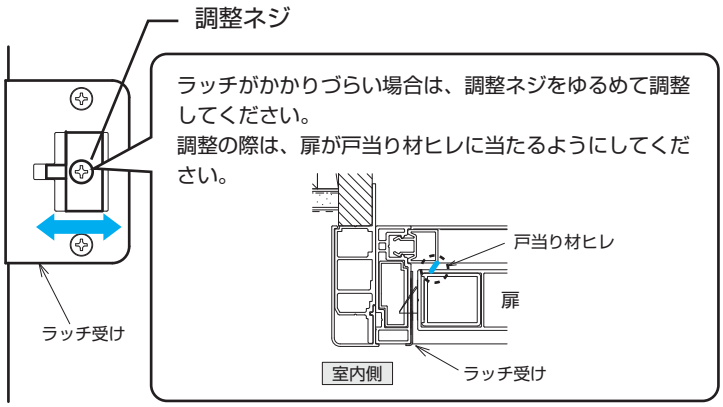


【開閉を重くしたい場合】
調整ネジをしめる

【開閉を軽くしたい場合】
調整ネジをゆるめる
※調整ネジは絶対にはずさないでください。
※調整ネジを回すときは、一度に回しすぎないでください。
目安として1/4回転（90°）ずつ調整してください。

● ラッチがかかりづらい場合の調整方法

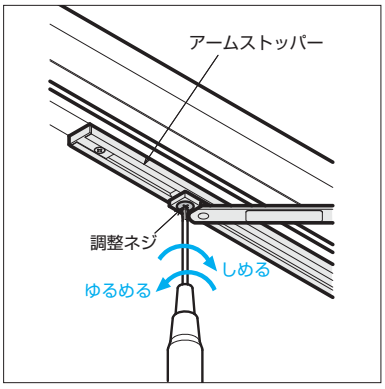




ラッチ受けの調整ネジを調整してください。
※調整の際は、扉が戸当りヒレに当たるようにしてください。
　調整後は必ず調整ネジをしめてください。

● アームストッパー（オプション）開閉力の調整方法

アームストッパーの調整ネジを回して窓の開閉力を調整します。



【開閉を重くしたい場合】
調整ネジをしめる

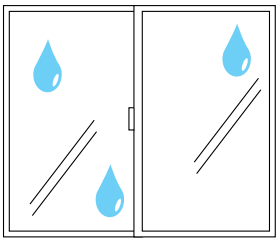
【開閉を軽くしたい場合】
調整ネジをゆるめる
※調整ネジは絶対にはずさないでください。
※調整ネジを回すときは、一度に回しすぎないでください。
　目安として1/4回転（90°）ずつ調整してください。

日常生活の中で窓・ドアなどについて「何かおかしいな・・・」と感じる現象が発生することがありますが、窓などの不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。お住まいの中で発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しておりますので、暮らしにお役立てください。

結露について

※凍結に至る場合もありますので早めに拭きとってください。

結露とは、水蒸気を多く含んだ暖かい空気が、冷たいものの表面に触れることで冷やされ、空気中に含みきれなくなった水蒸気が、水滴となってガラスなどに付着する現象です。これは自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。結露が発生した場合は、凍結に至る場合もありますので、早めにふき取ってください。



結露の発生を抑えるポイント

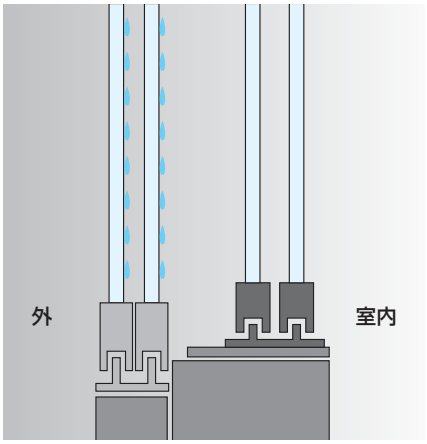
①過度な加湿の防止
（室内の湿度の上限は60%程度までにコントロールする）
②換気の促進
③室温は適温に保つ
（冬20℃～23℃、夏25℃～28℃）
④空気の流れをよくする。

『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。
ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡をお願いいたします。（ 0120-20-4134）

「プラマード U」取付け時の外窓（既設サッシ）の結露について

「プラマード U」を取付けても、外窓（既設サッシ）に結露が発生することがあります。
「プラマード U」の防露性は、内窓（「プラマード U」）の結露を大きく減少させる効果がありますが、外窓（既設サッシ）へ結露が発生しやすい条件も合わせもっています。二重窓は、室内の暖かい熱が内窓に遮断されるため、外部に熱が伝わりにくく外窓（既設サッシ）の表面温度が下がるなど、結露が発生しやすい条件になるためです。

二重窓の防露効果は、内窓の結露の発生を減少させること。結露は自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありませんことをご了承ください。



既設サッシ+**プラマードU**

内窓と外窓の間の温度上昇について

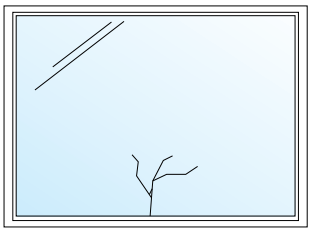
内窓と外窓を長時間閉めた状態にしておくと、外部環境によっては内窓と外窓の間の空間が高温になる場合がありますので少し開けて換気を行ってください。

内窓と外窓の間の空間が高温になることで起こりうる現象

① 樹脂形材の変形・収縮
② 樹脂形材の変色（熱+直射日光による）
③ ガラスの熱割れ（特に外窓が網入りガラスの場合）

複層ガラスの亀裂

複層ガラスは、堅いものなどの衝撃・溶接の火花・飛来物などの外力によってできるキズやごくまれにガラス中に残存する不純物に起因するキズにより、不意に突然亀裂が入る場合があります。
商品ご使用の際は、ガラス面にキズなどがつかないようご注意ください。
ガラスに亀裂が発生した場合は、すみやかに交換してください。
また、キズがついてしまった場合はお早めにまずお取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。



ガラスの熱割れについて

ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓の中に隠れている部分で温度の差による、熱膨張差が生じます。 この熱膨張差がガラスが持っている『強度』を超えた場合、ガラスが割れることとなります。
この現象が『熱割れ』と呼ばれ、網入りガラスに多く見られる現象です。
ガラスに割れが発生したら、すみやかに交換してください。

熱割れを予防するポイント

① ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
② 暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
③ ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
④ 室内に熱だまりをつくらない。

商品の保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取扱いの建築会社、工務店または販売店に修理をご依頼ください。

■対象商品

□一般住宅用建材商品

■保証期間

建築会社様よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）。
ただし、商品からの雨水浸入については10年間。
（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠をこえて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出したりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）または、これに伴うさび、かびまたはその他の不具合
⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温･低温･多湿による不具合など）
⑥商品または部品の材料特性に伴う現象（木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑦天災その他の不可抗力（暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合･キクイムシなどによる虫害
⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または、使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊ 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
＊ 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問合せください。
＊ この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

■補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。
ただし、商品販売終了後10年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。
※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。
補修用部品に関してご不明の点がございましたら、当社お客様相談室にお問い合せください。

複層ガラスの保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。
建築会社様よりの引渡し日（注1、注2）を保証開始日とした保証期間中に保証性能項目に関する不具合が生じた場合には、まずお取扱いの建築会社、工務店または販売店に修理をご依頼ください。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は建築主様への引渡し日になります。

■複層ガラスの商品性能項目と保証期間

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 （保証期間内でも、次のような場合には有料となります）
Low-E複層ガラス 複層ガラス アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ブラインド入り複層ガラス	複層ガラスの内部結露（ガラスとガラスの間の中空層内部での結露）が発生しないこと	10年	・複層ガラスを構成する板ガラスに亀裂または破損が生じている場合 ・海抜1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・垂直以外でのご使用の場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※
アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ブラインド入り複層ガラス	アタッチメント・格子・ブラインドの変色が目立たないこと	2年	
ブラインド入り複層ガラス	内部ブラインドの開閉に不具合がないこと	2年	・垂直以外でのご使用の場合 ・海抜1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※

※商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、及び製造年月等を確認致します。

■熱処理ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 （保証期間内でも、次のような場合には有料となります）
強化ガラス 耐熱強化ガラス	自然破損しないこと※1	10年	・必要な強度検討がなされずに破損した場合 ・ガラス表面に付いたキズが成長して破損した場合 ・特に強い外力の衝撃が加わった場合 ・破損したガラス片を回収、調査した結果、破損原因となる不純物が検出されなかった場合 ・ガラスが脱落しにくい施工方法や強化合わせガラスを採用するなど破損落下、飛散防止の対応を講じていないことにより発生した人体および器物への損害賠償 ・ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※

※ 商品に打刻されたマークにより、当社製品であることおよび製造年月などを確認いたします。
※1）"自然破損"とはガラス中に存在する不純物による、外から力が加わっていない状態での不意の破損を指します。
現在の技術では自然破損を無くすことができないことをご理解ください。

■複層ガラス商品共通の免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
①当社標準施工方法および取扱い上、設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項が守られなかったことに起因する不具合
②使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合
（ガラス表面にフィルムやポスター等を貼ることや、塗料を塗ることなどを含みます）
③火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合
④事前のお打ち合せで商品保証の対象外であることをご了承頂いている場合
⑤実用化された技術では予測困難な現象に起因する不具合
⑥熱割れ、自爆などのガラスの破損
⑦板硝子協会・（一社）日本サッシ協会発行『複層ガラス・単板ガラスサッシの取合いに関する仕様基準と解説』に準拠されていなかった場合

■保証内容

保証性能項目に関する不具合が発生した場合には、免責事項に該当する場合を除き、代替品（不具合が生じた当社製複層ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種）を無料交換致します。

＊ 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問合せください。
＊ この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

お客様メモ

■お問い合せなどのために、記入しておくと便利です。

お引き渡し日 （または入居日）	年　　月　　日
工務店・建築会社	社名 TEL　　－　　－
販売店	社名 TEL　　－　　－
商品名	

長期間、商品をご使用になりますと、ネジのゆるみ、がたつきなどの不具合が発生することがあります。
そのままにしておきますと人身事故や家財の損害などの原因になります。
対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。

■修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。
●商品名　●商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください）。
●お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日または入居日）。
●工務店、建築会社名など。　●破損箇所や不具合状態。

メモ

YKK AP株式会社

●表示内容は2013年8月現在のものです。
●改良のため予告なく商品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本紙上で使用する「プラマード」はYKK AP（株）の出願・登録商標です。
●発行／2013年　8月（5版）①

商品に関するご相談、お問い合せは
お客様相談室
0120-20-4134
受付時間　月～土 9:00～17:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

●お問い合せ、ご用命は……

ホームページ www.ykkap.co.jp/
NO XAAAE H11-014-5
EH11-014-5